2027年度

文学研究科
学生募集要項

〈Ⅰ期募集・Ⅱ期募集〉

国文学専攻	博士課程前期・後期
英文学専攻	博士課程前期・後期
日本常民文化専攻	博士課程前期・後期
美学・美術史専攻	博士課程前期・後期
コミュニケーション学専攻	博士課程前期・後期
ヨーロッパ文化専攻	博士課程前期・後期

成城大学大学院

https://admission.seijo.ac.jp

発行：成城大学入学センター

〒157-8511　東京都世田谷区成城 6 - 1 -20
TEL. 03-3482-9100　FAX. 03-3482-9618
E-mail. admission@seijo.jp

目　次

文学研究科の概要 …… 1

文学研究科の人材育成の目的と３つの方針 …… 2

Ⅰ期募集（９月入試）

1 試験日程 …… 4
2 募集人員・出願資格 …… 5

Ⅱ期募集（２月入試）

3 試験日程 …… 6
4 募集人員・出願資格 …… 7

Ⅰ期募集・Ⅱ期募集共通

5 事前審査・出願資格の確認について …… 8
6 〈最も得意な言語（いわゆる母語）〉が
日本語以外の言語である志願者は下記の指示に従うこと …… 11
7 在留資格についての注意 …… 11
8 出願資格の詳細 …… 12
9 選抜方法・学力試験時間割（筆記試験・口述試問）…… 16
10 出願書類 …… 18
11 出願手続 …… 20
12 入学検定料 …… 20
13 受験票の交付 …… 21
14 学費 …… 21
15 合格者発表および入学手続 …… 21
16 各種制度のご案内 …… 22
17 WEB 出願手続…… 26

教員推薦入試 …… 30

授業科目および研究指導担当者 …… 32

専任教員の紹介 …… 44

個人情報の取り扱い

成城大学では、出願及び入学手続にあたってお知らせいただいた氏名、住所その他個人情報を、成城学園個人情報保護方針に基づき適切に管理し、出願処理、入学者選抜実施、合格発表、入学手続、学籍管理業務及びこれらに付随する事項のため、ならびに個人を特定しない形での統計資料の作成を行うために利用します。

上記の業務は、その一部を成城大学が委託した業者において行います。業務委託にあたっては、十分な個人情報保護の水準にある企業を選定し、機密保持条項を含む契約により漏えいや目的外利用を行わないよう義務づけ、適切な管理を行います。また、その再委託先についても同様に契約を締結させ、目的外利用を行わないように個人情報の管理を徹底させます。

文学研究科の概要

目的

本大学院は、高度にして専門的な学術の理論と、その応用とを研究し、それらの深奥を究めるとともに、人間の尊厳を自覚した社会人として、文化の進展と人類の福祉とに寄与すべき人物を養成することを目的とする。

博士課程前期は、広い視野に立って専攻の分野を研究し、精深な学識と研究能力とを養成する。博士課程後期は、独創的な研究によって、独自の学問的領域を開拓し、学術の水準を高めるとともに、専攻分野に関して研究を指導する能力を得させる。

収容定員

	専攻	博士課程前期		博士課程後期		全体
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	収容定員
文学研究科	国文学専攻	10	20	5	15	35
	英文学専攻	10	20	5	15	35
	日本常民文化専攻	10	20	5	15	35
	美学・美術史専攻	10	20	5	15	35
	コミュニケーション学専攻	10	20	5	15	35
	ヨーロッパ文化専攻	10	20	5	15	35

全専攻の入学定員には、若干名の内部推薦の枠を含む。

履修方法

1．博士課程前期を修了するためには、２年以上在学し（ただし、英文学専攻の早期修了制度及び日本常民文化専攻の教員早期修了制度の場合はこの限りではない）、所定の単位を修得し、修士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格しなければならない。
2．博士課程後期を修了するためには、博士課程前期（または修士課程）に加えてさらに３年以上在学し、所定の単位を修得し、博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格しなければならない。

学位授与

博士課程前期の課程を修了した者に対しては、研究科教授会の議を経て修士（文学）の学位を、博士課程後期を修了した者に対しては、研究科教授会の議を経て博士（文学）の学位を授与する。

文学研究科の人材育成の目的と 3 つの方針

Ⅰ．課程の修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

次の条件を満たした者には、当該課程を修了したことを認める。

1．博士課程前期：修士（文学）

(1) 当該分野において、自律的に研究活動を展開できる知識を有していること。
(2) 当該分野において、自ら課題を発見し、論理的に問題を探究できる能力を身に付けていること。
(3) 当該分野において、自らの知見を他者に客観的かつ説得的に伝達するための理論構築と表現方法を身につけていること。

2．博士課程後期：博士（文学）

修士の学位に必要な条件に加え、より高度な専門的知識と理論的能力を身につけ、研究者として独創的な活動を展開し、学界などで発信できる能力を身につけていること。

Ⅱ．教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

ディプロマ・ポリシーに示した能力を身につけるため、次の方針で教育課程を編成し、実施します。

1．博士課程前期

(1) 学生の自律的研究能力を養成するため、授業は講義形式とともに、学生の積極的発表と議論に基づくゼミナール形式を重視します。
(2) 授業内での研究発表を通じて、発表能力の向上に努めます。また、発表後のディスカッションを通じて、他者の疑問を正確に把握し、的確に答える能力を養います。
(3) カリキュラム編成の基本原理として、まず、専門分野に関する高度な内容の授業を提供することにより、学生の知識と洞察を深めることを目指します。次に、学生が幅広い教養を身につけ、広く社会で活躍するに資する知見を得られるよう、専攻間の垣根をできる限り低くします。また、全研究科間での単位互換制度を導入しており、学生に大きな選択肢を与えています。
(4) 個別の研究指導を通じて、知識と論理性のみならず、研究遂行に求められる高い倫理観を育むとともに、自らの考えを的確に表現する能力を伸ばすことによって、修士論文執筆に繋げます。
(5) 授業は研究指導を含め、基本的にセメスター制とし、学生の興味関心に柔軟に対応するとともに、留学を容易にします。また、長期履修学生制度により、多様な学修形態を可能にします。
(6) 教職課程および学芸員課程の履修を可能にし、教員免許および学芸員資格を取得する機会を与えます。さらに社会イノベーション研究科が提供する所定の授業を履修することにより、専門社会調査士の資格取得も可能にします。

2．博士課程後期

(1) 学生の自律的研究能力を強化するため、授業は学生の研究発表を主体としたゼミナール形式を基本とします。
(2) 授業内での研究発表を通じて、発表能力の向上に努めます。また、発表後のディスカッションを通じて、他者の疑問を正確に把握し、的確に答える能力を養います。
(3) カリキュラム編成の基本原理として、学問的刺激に満ちた専門科目を提供します。並行して、博士論文執筆の要件を明確化するとともに、指導教員による定期的な研究指導を行い、知識と論理性のみならず、研究遂行に求められる高い倫理観を育む在学中の博士論文提出を促します。
(4) 国内だけでなく、海外での学会発表を推奨し、それに向けた研究指導を行うとともに、本研究科独自の支援制度により、発表を容易にする環境を整備します。
(5) 授業は研究指導を含め、基本的にセメスター制とし、学生の興味関心に柔軟に対応するとともに、留学を容易にします。また、長期履修学生制度により、多様な学修形態を可能にします。
(6) 教職課程および学芸員課程の履修を可能にし、教員免許および学芸員資格を取得する機会を与えます。さらに社会イノベーション研究科が提供する所定の授業を履修することにより、専門社会調査士の資格取得も可能にします。

Ⅲ．入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

次の条件を満たす人を入学者として求めます。

1．博士課程前期

(1) 学術論文を執筆するための基礎学力、柔軟かつ批判的に思考する能力および自律的に研究する能力を有する人。
(2) 文学研究科の学問について、旺盛な関心と探究心を有する人。
(3) 自らの個性を自覚し、それを伸長させることに意欲的である人。

2．博士課程後期

博士課程前期への入学に必要な条件に加え、博士課程後期における研究に必要な、よりいっそうの知識や技能・能力を備え、より高度で独創的な研究を遂行する素養に富み、その実現に熱意を持って取り組む人。

文学研究科　Ⅰ期募集（9月入試）

1 試験日程

出願期間	2026年8月17日（月）～8月27日（木） ※「出願手続」項目を確認すること。
試験日	2026年9月26日（土） ※「試験当日」項目を確認すること。
合格者発表	2026年9月28日（月）10：00　※21頁参照
入学手続期間	2026年9月28日（月）～11月16日（月）16：00 ※「入学手続」項目を確認すること。

●出願手続（WEB出願システムにより行うこと。26～28頁参照）

- 出願期間中に「WEBでの出願」「入学検定料の支払い（振込等）」「出願書類の提出」を行うこと。
- 締切日は締切時間を設けているため注意すること。
- 入学検定料の支払いは、締切日を厳守すること。
- WEBによる志願者情報の登録及び出願書類の提出は、締切日16：00までとする。
- 出願書類の提出方法は次の通り。

①郵送出願（書留便）
②入学センター持参（2号館1階）
平　日：9：00－16：00
（土曜、日曜、祝日、その他大学の休業日（夏期一斉休業期間、年末年始等）を除く。）

●試験当日

- 自身が受験する最初の試験科目の試験開始30分前までに大学3号館（巻末「大学校舎案内」参照）に集合のこと。
- 受験者は、試験開始10分前までに所定の試験場に入ること。試験時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後20分以内の遅刻に限り、受験を認める。
- 試験科目の「免除」を申請した者や試験区分で試験科目が免除されている者は、集合時刻に注意すること。
- また、口述試問の開始時刻は受験者数等によって前後する場合がある。募集要項の時刻から変更がある場合は、別途受験票等で通知をする。

●入学手続

- 入学手続期間中に「納付金の納入」「入学手続書類の提出」「WEB上での情報入力」を行うこと。締切日は締め切り時間を設けているため注意すること。

2 募集人員・出願資格

課程	専攻	募集人員	出願資格		
			一般入試	社会人入試	内部推薦入試
博士課程前期※注1	国文学※注2	5名	12・13頁の表7の博士課程前期の出願資格の（1）から（10）に該当する者。	12・13頁の表7の博士課程前期の出願資格の（1）から（10）に該当する者で、且つ入学時に大学卒業後3年以上を経過している者。 尚、現在職に就いているか否かは問わない。	成城大学文芸学部を卒業、または卒業見込みの者。 詳しくは『文学研究科内部推薦入試要領』を参照。※注3
	英文学	5名			
	日本常民文化	5名			
	美学・美術史	5名			
	コミュニケーション学※注2	5名			
	ヨーロッパ文化	5名			
博士課程後期※注1	国文学※注2	2名	14・15頁の表8の博士課程後期の出願資格の（1）から（8）に該当する者。		
	英文学	2名			
	日本常民文化	2名			
	美学・美術史	2名			
	コミュニケーション学※注2	2名			
	ヨーロッパ文化	2名			

※注1　外国人枠は設けないが、それぞれの入試区分に外国人受験者が含まれる。
※注2　**最も得意な言語（いわゆる母語）が日本語以外の言語である志願者のうち、国文学専攻・コミュニケーション学専攻の志願者は、日本語能力検定（JLPT）のN1に合格した者のみ出願できる。（11頁参照）**
※注3　『文学研究科内部推薦入試要領』は入学センターで入手できる。8頁参照。

文学研究科　Ⅱ期募集（２月入試）

3 試験日程

出願期間	2026年12月16日（水）～2027年１月12日（火） ※「出願手続」項目を確認すること。
試験日	2027年２月20日（土） ※「試験当日」項目を確認すること。
合格者発表	2027年２月22日（月）10：00　※21頁参照
入学手続期間	2027年２月22日（月）～３月５日（金）16：00 ※「入学手続」項目を確認すること。

●出願手続（WEB出願システムにより行うこと。26～28頁参照）

- 出願期間中に「WEBでの出願」「入学検定料の支払い（振込等）」「出願書類の提出」を行うこと。
- 締切日は締切時間を設けているため注意すること。
- 入学検定料の支払いは、締切日を厳守すること。
- WEBによる志願者情報の登録及び出願書類の提出は、締切日16：00までとする。
- Ⅱ期募集の出願に限り、出願期間中に入学センターに申し出をすることにより、出願書類（18頁参照）のうち、卒業論文または修士論文の写しのみ、2027年１月18日（月）まで提出を猶予する。この場合においても、その他の提出を必要とする書類は、出願期日までに必着するように留意すること。
- 出願書類の提出方法は次の通り。
  ①郵送出願（書留便）
  ②入学センター持参（２号館１階）
  平　日：９：00－16：00
  （土曜、日曜、祝日、その他大学の休業日（夏期一斉休業期間、年末年始等）を除く。）

●試験当日

- 自身が受験する最初の試験科目の試験開始30分前までに大学３号館（巻末「大学校舎案内」参照）に集合のこと。
- 受験者は、試験開始10分前までに所定の試験場に入ること。試験時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後20分以内の遅刻に限り、受験を認める。
- 試験科目の「免除」を申請した者や試験区分で試験科目が免除されている者は、集合時刻に注意すること。
- また、口述試問の開始時刻は受験者数等によって前後する場合がある。募集要項の時刻から変更がある場合は、別途受験票等で通知をする。

●入学手続

- 入学手続期間中に「納付金の納入」「入学手続書類の提出」を行うこと。締切日は締め切り時間を設けているため注意すること。

4 募集人員・出願資格

課程	専攻	募集人員	出願資格		
			一般入試	社会人入試	内部推薦入試
博士課程前期※注１	国文学※注２	５名	12・13頁の表７の博士課程前期の出願資格の（１）から（10）に該当する者。	12・13頁の表７の博士課程前期の出願資格の（１）から（10）に該当する者で、且つ入学時に大学卒業後３年以上を経過している者。 尚、現在職に就いているか否かは問わない。	成城大学文芸学部を卒業、または卒業見込みの者。 詳しくは『文学研究科内部推薦入試要領』を参照。※注３
	英文学	５名			
	日本常民文化	５名			
	美学・美術史	５名			
	コミュニケーション学※注２	５名			
	ヨーロッパ文化	５名			
博士課程後期※注１	国文学※注２	３名	14・15頁の表８の博士課程後期の出願資格の（１）から（８）に該当する者。		
	英文学	３名			
	日本常民文化	３名			
	美学・美術史	３名			
	コミュニケーション学※注２	３名			
	ヨーロッパ文化	３名			

※注１　外国人枠は設けないが、それぞれの入試区分に外国人受験者が含まれる。
※注２　**最も得意な言語（いわゆる母語）が日本語以外の言語である志願者のうち、国文学専攻・コミュニケーション学専攻の志願者は、日本語能力検定（JLPT）のＮ１に合格した者のみ出願できる。（11頁参照）**
※注３　『文学研究科内部推薦入試要領』は入学センターで入手できる。８頁参照。

文学研究科　Ⅰ期募集・Ⅱ期募集共通

5　事前審査・出願資格の確認について

1. 内部推薦入試出願資格審査の申請期間

成城大学文芸学部を卒業、または卒業見込みの者で内部推薦入試の受験を希望する者は、表４の期間中に事前審査を受ける必要がある。

（表４）

課　　程		博士課程前期
審査申請期間	Ⅰ期	2026年６月26日（金）から７月９日（木）16：00まで（必着）
	Ⅱ期	2026年11月４日（水）から11月12日（木）16：00まで（必着）

●申請手続きについて

出願を予定している者は、２号館１階の入学センターで、『内部推薦入試要領』を入手すること。

なお、「事前審査」では入学検定料の納付は不要で、「事前審査」の後に出願をとりやめても構わない。

また、３年生の秋から１年間交換留学・認定留学した学生用の事前審査受付期間は別途定めているので、入学センターまで問い合わせること。

2. 文学研究科が指定している者の出願期間前の出願資格の確認・審査申請期間

出願資格に応じて、出願期間前に、資格証明書の確認、学力確認、又は入学資格審査がそれぞれ必要となります。表５「出願期間前における出願資格の確認・審査申請期間」内に成城大学入学センターに申請してください。対象となる者は次の通りです。なお、中国の教育機関を卒業・修了した者は10頁を参照すること。

- 出願資格12・13頁の表７の（３）から（10）で出願を検討している者
- 出願資格14・15頁の表８の（３）から（８）で出願を検討している者

（表５）2027年度入学に係る出願期間前における出願資格の確認・審査申請期間

確認・審査申請期間	Ⅰ期	2026年７月21日（火）から８月６日（木）16：00まで（必着）
	Ⅱ期	2026年12月１日（火）から12月11日（金）16：00まで（必着）

●提出書類

出願資格の確認・審査申請時に必要な書類は、表６の通り。所定の様式は、「成城大学入試情報サイト　成城ブリッジ（https://admission.seijo.ac.jp/）」に掲載しているので、ファイルをダウンロードして印刷し、必要事項を記入の上、メールに添付して提出すること。

書類送付先：成城大学入学センター　　admission@seijo.jp

（表６）2027年度入学に係る出願期間前における出願資格の確認・審査申請必要書類

提出が必要である書類	備考
（ア）出願期間前における出願資格の確認・審査申請書	本学所定の様式
（イ）履歴書	本学所定の様式
（ウ）自身が該当する表７又は表８中の番号（出願資格）の資格証明書欄に記載されている資格証明書のコピー　※１	出願資格の確認・審査申請時において、証明書類の原本を提出する必要はありません。なお、原本は、本出願時にご提出いただきます。

※１ 原本（出身学校が発行し、証明した文書）のコピーを提出してください。原文が日本語または英語以外の言語の場合は、原文と併せて日本語または英語による訳文を付けてください。
訳文については、大使館などの公的機関で認証を受けてから提出してください。
卒業（修了）または卒業見込み（修了見込み）証明書を発行できない場合は、学位証明書の原本（出身学校が発行し、証明した文書）のコピーを提出してください。

※２ 出願資格及びその資格証明書等について疑問がある場合は、出願期間前における出願資格の確認・審査申請期間以前の、できるだけ早い時期に入学センターまで問合せること。

3. 中国の教育機関を卒業・修了した方へ

中国において、４年制の高等教育機関（大学（本科））を卒業して学士の学位を授与されている志願者、及び大学院の課程を修了して修士の学位を授与されている志願者で、出願期間中に**CHSI（中国高等教育学生信息網）又はCHSI中国学歴・学籍認証センター日本代理機構が発行する「学歴認証書」及び「成績認証書」**を提出する者は「出願資格の確認」（８・９頁記載）を受ける必要はありません（表６の（ア）（イ）（ウ）の提出は不要）。

「学歴認証書」及び「成績認証書」については、下記**1）**から**3）**までに記す手続きに従って、提出してください。

なお、出身大学が発行する書類での出願資格の審査を希望する場合は、８・９頁の事前審査が必要になりますので、必ず審査を受けてください。

1）提出書類

中国のCHSI（中国高等教育学生信息網）又はCHSI中国学歴・学籍認証センター日本代理機構が発行する、次の２種類の認証書類を提出してください。ただし、いずれも**英語版のみを有効**とします（中国語版は、受け付けません）。

（１）学歴認証書（Verification Report of China Higher Education Qualification Certificate）
（２）成績認証書（Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript）

2）提出方法

中国のCHSI（中国高等教育学生信息網）又はCHSI中国学歴・学籍認証センター日本代理機構に志願者**自身で申請**し、「学歴認証書」と「成績認証書」の両方を、**出願期間内**に成城大学入学センターへ**直送**されるよう手配してください。

●提出先

成城大学入学センター
〒157-8511　東京都世田谷区成城６-１-20
Tel：03-3482-9100　　E-mail：admission@seijo.jp
受付時間：平日９時～16時（土曜・日曜・祝日・大学の休業日を除く）

3）注意事項

- 認証書類（「学歴認証書」と「成績認証書」）は、発行元から本学に直送されるもののみを有効とします。志願者等から本学へ転送された場合は、無効とします。
- 認証書類の発行には、数週間から数か月程度かかる場合があります。余裕をもって準備し手配してください。

6 〈最も得意な言語（いわゆる母語）〉が日本語以外の言語である志願者は下記の指示に従うこと

1. 国文学専攻・コミュニケーション学専攻の志願者

〈最も得意な言語（いわゆる母語）〉が日本語以外の言語である志願者のうち、国文学専攻・コミュニケーション学専攻の志願者は、出願日から遡って２年以内に日本語能力検定のＮ１レベルに合格した者のみ出願ができます。

2. 受験科目および試験の解答方法

- 一般語学科目の選択は次の通りとします。
- 一般語学科目では、母語を試験科目として選択することはできません。
- 指定がない限り、原則としてすべて日本語で解答してください。

<table>
<tr><th>専攻</th><th colspan="7">一般語学</th></tr>
<tr><td>国文学</td><td>博士課程前期</td><td colspan="6">免除</td></tr>
<tr><td>英文学</td><td>博士課程後期</td><td colspan="3">〈最も得意な言語〉が英語の場合
⇩
独語・仏語・中国語のうち
１科目選択</td><td colspan="3">〈最も得意な言語〉が
英語以外の場合
⇩
免除</td></tr>
<tr><td>日本常民文化</td><td>博士課程前期・
博士課程後期</td><td colspan="6">免除</td></tr>
<tr><td>美学・美術史</td><td>博士課程前期・
博士課程後期</td><td colspan="6">英語・独語・仏語・伊語・中国語のうちから
〈最も得意な言語〉でない言語を１科目選択</td></tr>
<tr><td>コミュニケーション学</td><td>博士課程前期・
博士課程後期</td><td colspan="6">免除</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ヨーロッパ文化</td><td rowspan="3">博士課程前期・
博士課程後期</td><td colspan="2">〈最も得意な言語〉が
独語の場合</td><td colspan="2">〈最も得意な言語〉が
仏語の場合</td><td colspan="2">〈最も得意な言語〉が
独語・仏語以外の場合</td></tr>
<tr><td>専門科目で
独文解釈を
選択</td><td>専門科目で
独文解釈以
外を選択</td><td>専門科目で
仏文解釈を
選択</td><td>専門科目で
仏文解釈以
外を選択</td><td rowspan="2">免除</td></tr>
<tr><td>英語・仏語
のうち１科
目選択</td><td>免除</td><td>英語・独語
のうち１科
目選択</td><td>免除</td></tr>
</table>

7 在留資格についての注意

日本国籍を有しない海外在住のみなさんへ

※日本国籍を有しない方が本学に入学するには、出入国管理及び難民認定法において、大学院入学に支障のない在留資格を現に有するか、入学時までに取得できることが必要です。
※入学時までに上記在留資格を取得できない場合は入学許可を取り消します。
※「短期滞在ビザ」で受験し合格した場合、本学の発行する「入学許可書」（入学手続完了後申請を受けて一週間程度で発行）を使用し、自国に戻って「留学」ビザを取得する必要があり、ビザの取得には１ヶ月～３ヶ月ほどの時間がかかります。
※以上から、「短期滞在ビザ」でのⅡ期募集入試への出願は避けることを強くお勧めします。

8 出願資格の詳細（Ⅰ・Ⅱ期共通）

出願資格及び出願期間前における出願資格の確認・審査申請について

成城大学大学院文学研究科に出願することができるのは、博士課程前期については表７に掲げるいずれかの出願資格に該当する者、博士課程後期については表８に掲げるいずれかの出願資格に該当する者です。また、各出願資格を証明するために必要となる資格証明書も、表７及び表８に示すとおりです。詳細をよく確認してください。なお、資格証明書は、各機関が発行する書類です。

博士課程前期　出願資格

（表７）2027年度入学に係る博士課程前期の出願資格並びに対応する資格証明書及び出願期間前の審査等の有無

出願資格	資格証明書	出願期間前の審査等の有無
（1）日本の大学(注1)を卒業した者、又は 2027年 3 月 31日までに卒業見込みの者	卒業又は卒業見込証明書	無
（2）大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者、又は 2027年 3 月 31日までに授与される見込みの者	学位授与又は学位授与見込証明書	無
（3）外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者、又は 2027年 3 月 31日までに修了見込みの者	当該課程の修了又は修了見込証明書 ＊国や学校により、その他の証明書類の提出を求めることがある。	有 証明書類の確認 ただし、（注３）に該当する者は無し
（4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者、又は 2027年 3 月 31日までに修了見込みの者	当該課程の修了又は修了見込証明書 ＊国や学校により、その他の証明書類の提出を求めることがある。	有 証明書類の確認
（5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するもの（以下「文部科学大臣指定外国大学日本校」という。）の当該課程を修了した者、又は 2027年 3 月 31日までに修了見込みの者	文部科学大臣指定外国大学日本校の課程の修了又は修了見込証明書	有 証明書類の確認
（6）外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び文部科学大臣指定外国大学日本校において課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者、又は 2027年 3 月 31日までに授与される見込みの者	文部科学大臣が指定する外国の大学等で修業年限が 3 年以上の課程を修了したことによる学士の学位に相当する学位授与又は学位授与見込証明書	有 証明書類の確認
（7）専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するもの（以下「文部科学大臣指定専修学校専門課程」という。）を文部科学大臣が定める日以後に修了した者、又は 2027年 3 月 31日までに修了見込みの者	課程修了又は課程修了見込証明書	有 証明書類の確認
（8）学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 6 号に規定する文部科学大臣の指定した者(注2)、又は 2027年 3 月 31日までにこの資格を満たす見込みの者	卒業又は卒業見込証明書	有 証明書類の確認
（9）学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者	他大学院に飛び入学した証明書 飛び入学した大学院の成績証明書 ＊個人の状況により、その他の証明書類の提出を求めることがある。	有 学力の確認
（10）本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時において 22 歳に達した者	最終学歴の卒業証明書 最終学歴の成績証明書 研究成果等（論文、評論等） ＊個人の状況により、その他の証明書類の提出を求めることがある。	有 入学資格の審査

（注１）上記（１）の「日本の大学」とは、学校教育法第83条に規定する大学を指す。
（注２）上記（８）の「学校教育法施行規則第155条第１項第６号に規定する文部科学大臣の指定した者」とは、昭和28年文部省告示第５号により指定される大学院の入学に関し大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者である。なお、この資格又は2027年３月31日までにこの資格を満たす見込みの者には、以下に示す者が含まれる。
- 防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校又は海上保安大学校を卒業した者、又は2027年３月31日までに卒業見込みの者
- 職業能力開発総合大学校の長期課程を修了した者、又は2027年３月31日までに修了見込みの者
- 気象大学校の大学部を卒業した者、又は2027年３月31日までに卒業見込みの者

（注３）中国の教育機関を卒業・修了し、CHSIの発行する「学歴認証書」及び「成績認証書」を出願期間中に提出する者は出願期間前の「出願資格の確認・審査」を受ける必要は無い。詳しくは10頁を参照のこと。

※その他の注意等
①上記（３）の「外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、又は2027年３月31日までに修了見込みの者」とは、「日本国外の正規の学校教育における16年目の課程を修了した者、又は見込みの者」という意味です。16年間教育を受けたかではなく、「16年目の課程を修了しているかどうか、修了する見込みかどうか」で判断します。
②上記（１）から（10）までのいずれの出願資格にも該当しない場合は、博士課程前期の出願資格に該当しません。たとえば、中国における３年制の高等教育機関（専科大学・職業学院等）のみ卒業して学士の学位を授与されていない場合は、出願資格に該当しません。

博士課程後期　出願資格

（表８）2027年度入学に係る博士課程後期の出願資格並びに対応する資格証明書及び出願期間前の審査等の有無

出願資格	資格証明書	出願期間前の審査等の有無
（１）日本の大学(注１)において授与された修士の学位を有する者、又は2027年３月31日までに当該学位を授与される見込みの者	修了又は修了見込証明書	無
（２）日本の大学(注１)において専門職大学院課程修了者に対して授与された学位(注２)（以下「専門職学位」という。）を有する者、又は2027年３月31日までに当該学位を授与される見込みの者	学位授与又は学位授与見込証明書	無
（３）外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者、又は2027年３月31日までに当該学位を授与される見込みの者	学位授与又は学位授与見込証明書 ＊国や学校により、その他の証明書類の提出を求めることがある。	有 証明書類の確認 ただし、（注４）に該当する者は無し
（４）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者、又は2027年３月31日までに当該学位を授与される見込みの者	学位授与又は学位授与見込証明書 ＊国や学校により、その他の証明書類の提出を求めることがある。	有 証明書類の確認
（５）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するもの（以下「文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校」という。）の当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者、又は2027年３月31日までに当該学位を授与される見込みの者	文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校の学位授与又は学位授与見込証明書	有 証明書類の確認
（６）国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、又は2027年３月31日までに当該学位を授与される見込みの者	学位授与又は学位授与見込証明書 ＊個人の状況により、その他の証明書類の提出を求めることがある。	有 証明書類の確認
（７）学校教育法施行規則第156条第６号に規定する文部科学大臣の指定した者(注３)	日本の大学における卒業証明書又は外国において学校教育における16年の課程の修了証明書 大学、研究所等において２年以上研究に従事したことの証明書類 研究成果等（論文、評論等） ＊個人の状況により、その他の証明書類の提出を求めることがある。	有 学力の確認
（８）本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時において24歳に達した者	最終学歴の卒業証明書 最終学歴の成績証明書 研究成果等（論文、評論等） ＊個人の状況により、その他の証明書類の提出を求めることがある。	有 入学資格の審査

（注１）上記（１）及び（２）並びに下記（注３）の「日本の大学」とは、学校教育法第83条に規定する大学を指す。
（注２）上記（２）の「専門職大学院課程修了者に対して授与された学位」とは、学校教育法第104条第３項に規定する専門職大学院の課程を修了した者に対し授与された、学位規則第５条の２に規定する学位を指す。
（注３）上記（７）の「学校教育法施行規則第156条第６号に規定する文部科学大臣の指定した者」とは、平成元年文部省告示第118号により指定される大学院の入学に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者であり、以下に示す者である。
- 日本の大学(注１)を卒業し、大学、研究所等において、２年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、２年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

（注４）中国の教育機関を卒業・修了し、CHSIの発行する「学歴認証書」及び「成績認証書」を出願期間中に提出する者は出願期間前の「出願資格の確認・審査」を受ける必要は無い。詳しくは10頁を参照のこと。

9 選抜方法・学力試験時間割（筆記試験・口述試問）（Ⅰ・Ⅱ期共通）

博士課程前期

選抜方法　※学力試験（筆記試験・口述試問）、研究計画書及び論文、出身学校の成績等により総合的に判断する。

専攻	入試区分	学力試験				口述試問
		一般語学		専門科目		
		科目	時間割	科目	時間割	
国文学	一般入試	英語、独語、仏語、中国語、漢文のうち１科目選択	9：30〜10：30（60分）	国文学・漢文学・国語学	11：00〜12：30（90分）	学力試験終了後に実施　※変更がある場合は受験票に表記する
	社会人入試	免除				
	内部推薦入試	免除				
英文学	一般入試			英語学系、英語文学・文化系のうち１科目選択	11：00〜12：30（90分）	
	社会人入試					
	内部推薦入試	免除				
日本常民文化	一般入試	英語、独語、仏語、中国語、漢文のうち１科目選択	9：30〜10：30（60分）	日本史学、民俗学、文化人類学のうち２科目選択	11：00〜12：30（90分）	
	社会人入試	免除				
	内部推薦入試	免除				
美学・美術史	一般入試	英語、独語、仏語、伊語、中国語のうち１科目選択	9：30〜10：30（60分）	美学、芸術学、日本美術史、東洋美術史、西洋美術史のうち１科目選択	11：00〜12：30（90分）	
	社会人入試	免除				
	内部推薦入試	免除				
コミュニケーション学	一般入試	英語、独語、仏語、中国語のうち１科目選択	9：30〜10：30（60分）	社会心理学･コミュニケーション学	11：00〜12：30（90分）	
	社会人入試	免除				
	内部推薦入試	免除				
ヨーロッパ文化	一般入試	英語、独語、仏語のうち１科目選択	9：30〜10：30（60分）	独文解釈、仏文解釈、古典ギリシア語解釈、ラテン語解釈のうち１科目選択・小論文（日本語）	11：00〜13：00（120分）	
	社会人入試	免除				
	内部推薦入試	免除				

博士課程後期

選抜方法　※学力試験（筆記試験・口述試問）、研究計画書及び論文、出身学校の成績等により総合的に判断する。

専攻	入試区分	学力試験				口述試問
		一般語学		専門科目		
		科目	時間割	科目	時間割	
国文学	一般入試			上代文学、中古文学、中世文学、近世文学、近代文学、漢文学、国語学のうち自分の専攻科目のみ	11：00〜12：30（90分）	学力試験終了後に実施　※変更がある場合は受験票に表記する
英文学	一般入試	独語、仏語、中国語のうち１科目選択	9：30〜10：30（60分）	英語学系、英語文学・文化系のうち１科目選択	11：00〜12：30（90分）	
日本常民文化	一般入試	英語、独語、仏語、中国語、漢文のうち１科目選択	9：30〜10：30（60分）	日本史学、民俗学、文化人類学のうち１科目選択	11：00〜12：30（90分）	
美学・美術史	一般入試	英語、独語、仏語、伊語、中国語のうち１科目選択	9：30〜10：30（60分）	美学、芸術学、日本美術史、東洋美術史、西洋美術史のうち１科目選択	11：00〜12：30（90分）	
コミュニケーション学	一般入試	英語、独語、仏語、中国語のうち１科目選択	9：30〜10：30（60分）	社会心理学･コミュニケーション学	11：00〜12：30（90分）	
ヨーロッパ文化	一般入試	英語、独語、仏語のうち１科目選択	9：30〜10：30（60分）	独文解釈、仏文解釈、古典ギリシア語解釈、ラテン語解釈のうち１科目選択・小論文（日本語）	11：00〜13：00（120分）	

学力試験の注意事項

●全専攻共通

- 一般語学科目の試験において、選択した科目の辞書（「漢文」における漢和辞典含む）を１冊のみ持ち込み、使用することができる（電子辞書は不可）。
- 一般語学科目、専門科目の試験において、書き込みや付せんが貼りつけてある辞書の使用は認めない。

●英文学専攻

- 社会人入試博士課程前期を受験する者でTOEFL iBT 90点以上あるいはIELTS 6.5以上の者は、専門科目の筆記試験を免除する。
- TOEFL iBTおよびIELTSの成績は、出願期間の締切日を基準に２年間有効とする。
- TOEFL iBTの成績表（Institutional Test Score Record）あるいはIELTSの成績証明書（Test Report Form）のコピーを出願書類とともに提出すること。

●日本常民文化専攻

- 博士課程前期および博士課程後期を受験する者は、入学後研究しようとする専門領域を第１選択とし、博士課程前期は第１、第２選択の別をWEB出願サイト上で選択すること。

●ヨーロッパ文化専攻

- 一般語学科目の選択を、専門科目と異なるものとすること。
- 専門科目の試験において、選択した科目の辞書を１冊のみ持ち込み、使用することができる（電子辞書は不可）。

10 出願書類（Ⅰ・Ⅱ期共通）

- ○は提出必須、△は任意若しくは該当する場合に提出。
- 指定のないものはすべて１部提出。
- 必ず次頁の注記を参照すること。

課程	博士課程前期			博士課程後期
入試区分	一般入試	社会人入試	内部推薦入試	一般入試
成績証明書（又は成績認証書（CHSI発行））（学部）（※１）	○	○	○	—
成績証明書（又は成績認証書（CHSI発行））（博士課程前期（修士課程））（※１）	—	—	—	○
卒業（若しくは学歴認証書（CHSI発行））または卒業見込証明書（※１）	○	○	○	—
修了（若しくは学歴認証書（CHSI発行））または修了見込証明書（※１）	—	—	—	○
[以下いずれかの論文等] ・卒業論文（写し）（※２） ・研究報告書（4000～8000字）（※３）	○	—	○（※４）	—
[以下いずれかの論文等] ・修士論文（写し）（※５） ・修士論文に代わる論文（12000字程度）（※６）	—	—	—	○
志願理由書（日本語 1000字程度。書式随意）	○	○	○	○
研究計画書（日本語 1000字程度。書式随意）（※７）	○	○	○（※８）	○
研究成果をまとめた論文や報告書（写し）	△	—	—	△
大学卒業後の研究成果（12000字程度の論文）（※９）	—	○	—	—
（英文学専攻志願者のみ）TOEFL iBT あるいはIELTSの成績のコピー（IELTSは、アカデミック・モジュールのみ利用可能）	—	△（※10）	○	—
日本語能力試験（N１レベル）の合格証明書の原本（写し不可） ※〈最も得意な言語（いわゆる母語）〉が日本語以外の言語である志願者で、国文学・コミュニケーション学専攻の志願者のみ。 ※合格証明書は出願日から遡って２年以内のもののみ有効	○	○	○	○
在留カードの両面の写し（日本在住で外国国籍を有する者のみ）	△	△	△	△
パスポート（写し）（日本国外に居住している者のみ）	△	△	△	△
戸籍抄本（※11）	△	△	△	△
長期履修学生申請書他（※12）	△	△	△	△

（※１）証明書の原本（出身学校が発行し、証明した文書）を提出してください。原文が日本語または英語以外の言語の場合は、原文と併せて日本語または英語による訳文を付けてください。訳文については、大使館などの公的機関で認証を受けてから提出してください。外国の大学（大学院）出身者で卒業または卒業見込証明書あるいは、修了または修了見込証明書が発行できない場合は、学位証明書の原本（出身学校が発行し、証明した文書）を提出してください。卒業または卒業見込、修了または修了見込と成績が一体型の証明書（例：卒業見込付成績証明書）でも可。

（※２）卒業論文の内容と言語が本入学試験の選抜に直接関わらないと判断した志願者は※３の「卒業論文がない者」に準じてよい。提出は、「書類の提出方法」に従うこと。

（※３）卒業論文がない者や、Ⅰ期入試の出願者で卒業見込の者は、これまでの研究経過について書くこと。英文学専攻、コミュニケーション学専攻、ヨーロッパ文化専攻志願者の研究報告書は日本語1000字程度。書式随意。提出は、「書類の提出方法」に従うこと。

（※４）日本常民文化専攻内部推薦志願者は提出不要。

（※５）修士論文の内容と言語が本入学試験の選抜に直接関わらないと判断した志願者は※６の「修士論文がない者」に準じてよい。提出は、「書類の提出方法」に従うこと。

（※６）修士論文がない者。既発表・未発表および書式は問わない。英文学専攻志願者は英語論文でもよい（3500 words程度）。提出は、「書類の提出方法」に従うこと。

（※７）提出は、「書類の提出方法」に従うこと。

（※８）日本常民文化専攻内部推薦志願者は3000字程度。

（※９）既発表・未発表および書式は問わない。英文学専攻志願者は、論文が、①英語で書かれている場合は日本語で2000字程度、②日本語で書かれている場合は英文で900語程度の要旨をつけること。提出は、「書類の提出方法」に従うこと。

（※10）専門科目の免除を希望する者のみ。

（※11）婚姻等により成績・卒業（修了）証明書等と現姓が異なる者のみ。

（※12）長期履修学生制度の利用を希望する場合は、24頁からの「長期履修学生制度」を熟読のうえ、必要書類を出願と同時に提出。

書類の提出方法

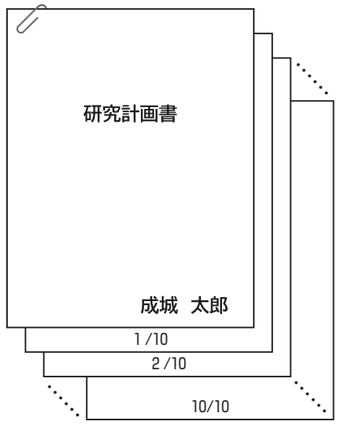
①表紙をつけること。表紙には提出書類のタイトル、氏名を記載すること。

② ２ページ目以降を本文とし、必ず通し番号を記載すること。

③本文は片面印刷にすること。カラー・白黒かは問わない。Ａ４サイズでの作成・提出を原則とする。

④表紙を含めてクリップで留めること。

⑤冊子等で綴じられている場合は、そのまま提出して構わない。
　※ただし、その書類が何かが分かるように付箋等を貼り付けること。



11 出願手続（Ⅰ・Ⅱ期共通）

志願者は、WEB出願（26～28頁参照）と入学検定料の支払いとともに、18頁「10.出願書類（Ⅰ期・Ⅱ期共通）」に該当する書類を入学センターへ提出すること（※詳細4頁・6頁「試験日程」参照）。

WEBによる志願者情報の登録及び出願書類の提出は、締切日16：00までとする。また、提出された書類は返却しない。

出願書類の提出方法は次の通り。

①郵送出願（書留便）

●出願書類送付先

〒157-8511
東京都世田谷区成城6-1-20
成城大学大学院　入学センター

封筒に「文学研究科出願書類在中」と明記のこと

②入学センター持参（2号館1階）
平　日：9：00－16：00
（土曜、日曜、祝日、その他大学の休業日（夏期一斉休業期間、年末年始等）を除く。）

障がいや疾病等により、本学の受験・修学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、以下のホームページを参照し本学入学センターに相談すること。
※日常生活において、補聴器・車椅子等を使用している方で、試験当日も同様に使用する場合は、試験場設定等の関係から、必ず申請してください。

成城大学入試情報サイト「成城ブリッジ」（大学院入試）
障がい等のある方への受験上及び修学上の配慮について
https://admission.seijo.ac.jp/graduate/senbatsu/care

12 入学検定料（Ⅰ・Ⅱ期共通）

35,000円（銀行振込に限る）

銀行備えつけの振込用紙、自動振込機（ATM）、ネットバンキングから、入学検定料をお支払ください。
振込手数料は、出願者がご負担ください。

●振　込　先

三井住友銀行　成城支店
普通預金　1451349
学校法人（ガッコウホウジン）　成城学園（セイジョウガクエン）

●お振込の際、出願者氏名の前に整理番号「28」を入力（記入）してください。
（例）28　セイジョウ　タロウ
●振込期間は出願期間中とする。出願締切日を厳守すること。
●原則として、一旦支払われた入学検定料は返還しない。
ただし、返還が認められる場合があるので、詳細は入試情報サイト「成城ブリッジ」の大学院ページ内にある「入学検定料の返還」を参照すること。

13 受験票の交付（Ⅰ・Ⅱ期共通）

入学検定料・出願書類の確認が取れた後、WEB出願システムにて受験票を交付する。
受験票が届き次第、内容に誤りがないか必ず確認すること。
試験日の1週間前までに受験票交付メールがない場合は、入学センターへ連絡すること。

14 学費（Ⅰ・Ⅱ期共通）

2026年度入学者入学年次納付金は以下の通りであるが、2027年度については、金額・納付方法等について一部変更する場合がある。

2026年度入学者入学年次納付金一覧（参考）

	科目	学外者	学内者	備考	
博士課程前期	入　学　金	150,000円	免除	入学年次のみ徴収	
	授　業　料	570,000円	570,000円	分割	1期のみ　150,000円 2～4期　各140,000円
	施　設　費	65,000円	65,000円	毎年徴収	
	合　　計	785,000円	635,000円		
博士課程後期	入　学　金	150,000円	免除	入学年次のみ徴収	
	授　業　料	507,000円	507,000円	分割	1期のみ　132,000円 2～4期　各125,000円
	施　設　費	65,000円	65,000円	2年次まで徴収	
	合　　計	722,000円	572,000円		

（注）1．授業料は年4回に分割納付することができる。
分割納付の場合の初回納付金は、次の通り。
博士課程前期学外者　365,000円　　博士課程前期学内者　215,000円
博士課程後期学外者　347,000円　　博士課程後期学内者　197,000円
2．入学金は入学年次のみ徴収。本学卒業者（学内者）は原則入学金*を免除する。
※入学金免除については、直近の学歴が本学を卒業または修了したことを要件とする。
3．外国人留学生で授業料等減免制度の利用を希望する者は、合格発表日以降に、大学9号館1階国際センターで当該制度についての説明を受けた後、所定の手続（納付金の振込と入学手続書類の提出）を行うこと。ただし、制度を利用するためには要件を満たす必要がある。手続申込には、入学手続書類一式が必要となる。
4．入学手続完了後、2027年3月31日（水）16：00までに所定の入学辞退手続を完了した者には、入学金を除く納付金を返還する。

15 合格者発表および入学手続（Ⅰ・Ⅱ期共通）

合格者の発表は、本学オフィシャルサイト（https://www.seijo.ac.jp）に掲載する。電話等による合否に関する問い合わせには一切応じない。

入学手続は、入学手続期間中に「WEB出願サイト上での個人情報の入力」「納付金の納入」「入学手続書類の提出」を行うこと。締切日は締め切り時間を設けているため注意すること。

なお、本学で交付する書類以外に下記の書類が必要となる。

ア．博士課程前期入学者は卒業証明書、博士課程後期入学者は学位取得単位証明書（修了証明書）を2027年３月25日（木）16：00までに提出。
イ．学生証氏名記載にかかわる公的書類（学生証の氏名は漢字またはカナ表記）。
住民票または住民票記載事項証明書１通（どちらも本人に関する記載のみ、マイナンバーおよび本籍の記載は不要）。
漢字圏の外国人は、漢字氏名が記載されている在留カードの写しを、その他の外国人については、カナ氏名が記載されている住民票を提出すること。

16 各種制度のご案内

1. 募集要項・過去問題の請求

直近の試験問題等は成城大学オフィシャルサイト（https://www.seijo.ac.jp）の「法令に基づく情報の公表」にて確認することができる。

大学院学生募集要項は、PDF版のみで、紙面による発行はしない。入試問題集（過去３年度分）は、無料にて入手できる。

※入試問題集は、実際に使用した科目のみの掲載となるため、実施していない試験科目は掲載されていない。

入学試験に関する一切の問い合わせは本学入学センターへすること。

電　　話	03-3482-9100
e-mail	admission@seijo.jp
受付時間	平　日：９：00－16：00

（土曜、日曜、祝日、その他大学の休業日（夏期一斉休業期間、年末年始等）を除く。）

2. 成城大学大学院澤柳奨学金制度

本学大学院の博士課程に在籍する者は、修学状況に基づき、選考により本奨学金の給付を受けることができる。

奨学金の給付額

給付対象者	給付額
博士課程前期在籍者（長期履修学生を除く）	140,000円
博士課程後期在籍者（長期履修学生を除く）	125,000円
長期履修学生	奨学生となった年度の授業料の４分の１に相当する額とし、千円未満の端数は、これを切捨てる。

給付期間：奨学生は、選考された当該年度に限り、奨学金の給付を受けることができる。
ただし、再度奨学金の給付を受けることを妨げない。

成城大学ウェブサイト（奨学金制度）
https://www.seijo.ac.jp/students/campus-life/scholarship/index.html

3. 成城大学私費外国人留学生授業料等減免制度

成城大学では、私費外国人留学生の経済的負担を軽減し、勉学・研究に支障がないよう、授業料等の減免を行うことを目的として、私費外国人留学生授業料等減免制度を設けています。

対象者	経済的理由により授業料等の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。ただし、次のいずれかに該当する者は除く。 （１）本学における他の授業料等の軽減措置を受けている者又は受ける予定のある者。 （２）理由なく授業料等を滞納している者。
申請手続	減免を希望する対象者は、合格通知に同封する案内で申請手続を確認すること。
選考基準	選考基準は、次のいずれにも該当することとする。 （１）仕送りを受けている場合、その仕送り額から授業料等納入すべき費用の支払いに充てた分を差し引いた額が平均月額90,000円以下であること。 （２）対象者の扶養者で、日本に在住する者がいる場合、その者の年収が500万円未満であること。

4. 博士課程後期単位修得退学者対象（授業料等減免制度）

博士課程後期を単位修得退学した後、博士論文の提出のために再入学をする者を対象として、授業料等減免制度を設けている。

種目	年額
入学金	免除
授業料	50,000円に減免
施設費（１、２年次）	—

●適用対象者

本学大学院研究科博士課程後期に、学則第21条に規定する所定の期間在学し、所要の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けて退学（単位修得退学）後、３年以上経た者で、研究指導を受けて博士論文の執筆及び論文審査の申請を目的として再入学を希望する者。

5. 長期履修学生制度

成城大学大学院文学研究科には、長期履修学生制度があります。

A 制度の概要

長期履修学生制度とは、職業を有している等の事情により、一般の標準修業年限（博士課程前期 2 年、博士課程後期 3 年）より長い一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度です。長期履修期間は、在学年限の範囲内で、1 年を単位として定めることができます。なお、第 1 学年からの適用を希望する場合には、入学試験を受けるための出願時に、あわせて所定の書類を提出して、制度の適用を申請してください。

B 申請について

1）対象の課程　博士課程前期・後期

2）申請資格

①職業を有する者
②家庭で親族等の介護にあたっている者
③出産予定のある者
④育児に携わっている者
⑤経済的理由により時間の余裕を必要とする者
⑥その他、文学研究科教授会において適当と認めた者
詳細は教務部（電話：03-3482-9045）にお問い合わせください

3）履修期間

在学年限の範囲内（博士課程前期 4 年、博士課程後期 6 年）で、1 年を単位として長期履修期間を定めることができます。

- 休学期間は、上記期間に含まれません。
- **長期履修学生制度の適用の有無にかかわらず、在学年限内に修了することができない場合には除籍の対象となります**のでご注意ください。

4）授業料

一般の標準修業年限分の授業料に相当する額を、長期履修期間に応じて分割納付することになります。

具体的な納入額、納入時期等については、長期履修の許可時に通知します。

長期履修による授業料年額＝通常の授業料年額×一般の標準修業年限÷長期履修許可年限

例）博士課程前期で 3 年間とする長期履修学生制度の許可を得た場合

区分	各年度の授業料納付額			修了までの授業料総額
一般学生（標準修業年限 2 年）	1 年目 570,000円	2 年目 570,000円		1,140,000円
長期履修学生（3 年の標準修業年限期間の適用）	1 年目 380,000円	2 年目 380,000円	3 年目 380,000円	1,140,000円

※上記は最新年度の授業料年額（施設費を除く）による例です。
※在学 1 年後（博士課程後期は 2 年も含む）に長期履修学生制度の適用を受ける場合は、入学時に長期履修許可を得た場合よりも授業料総額は高くなりますのでご注意ください。

5）申請時期　出願時

6）申請方法

出願書類の他に下記の書類を提出してください。

- 長期履修学生制度適用申請書（入学志願者用）（様式 1 － 1）
- 長期履修計画書（入学志願者用）（様式 3 － 1）
- 申請資格を満たしていることが確認できる書類（在職証明書等）
- その他研究科が必要と認める書類

※提出された申請書類は、返却いたしません。
様式 1 － 1 と様式 3 － 1 については、下記の本学インターネット・サイトよりダウンロードしてください。
https://www.seijo.ac.jp/students/univ-system/longterm-student/

7）結果通知　適用の可否は、合格者発表後、教務部より別途通知します。

C その他

希望する標準修業年限に対応して年間履修登録上限単位数が設定されていますので、申請の際に確認してください。
なお、長期履修学生制度の適用を受けた後に、事情により適用される標準修業年限の期間の変更を希望する場合は、1 回に限り変更（延長または短縮）することができます（博士課程前期 1 年次生、後期 1 ・ 2 年次生のみ対象）。また、長期履修学生制度に関するお問い合わせは教務部（電話：03-3482-9045）にて受け付けます。

17 WEB出願手続

出願にあたっては、まず、パソコン、スマートフォン又はタブレットからインターネット上で「WEB出願サイト」にアクセスして出願情報等の登録を行います。その後、入学検定料の支払いと郵送による出願書類の提出を行います。詳細は、以下を確認してください。

なお、WEB 出願ができない場合は、入学センターまでお問い合わせください。

1. 出願及び受験票交付の手順

STEP 6 出願書類の提出までを出願期間（4 頁及び 6 頁参照）内に完了してください。

STEP 1 事前準備

出願を開始する前に、次の 4 点について、予め準備してください。

① メールアドレス（登録に必須です。志願者が常時受信可能なアドレスをご用意ください。）
なお、メールアドレス登録時に、正常にメールが届くか否かのテスト（疎通確認）を行います。また、携帯通信キャリアのメールアドレスを登録する場合は、事前に「@eraku-p.jp」「@seijo.jp」からの受信を許可するように設定しておいてください。

② 顔写真データ
顔写真は、試験時に本人確認用として、また、入学時には学生証用としても使用します。

③ 封筒（出願書類の郵送用です。大きさは、長形 3 号又は角形 2 号を推奨します。）

④ 出願書類（18頁から19頁までを参照してください。）

登録する顔写真データの規格

ⓐ 本人のみが写っているもの
ⓑ 出願前 3 か月以内に撮影したもの
ⓒ カラーのみ可（モノクロ不可）
ⓓ 上半身、正面向き、脱帽、マスクなし、背景のないもの
ⓔ ピントが合っていて、顔が鮮明に写っているもの
ⓕ 画像に加工を施していないもの
ⓖ メガネ着用の場合、フレームが目に重なっていないもの。レンズは無色透明に限る。
ⓗ ファイルサイズが10MB以下であるもの
ⓘ ファイル形式がJPEG又はPNGであるもの
※顔が大きすぎる又は小さすぎる、髪の毛が顔にかかっているなど、顔が判別しづらいものは受け付けません。

STEP 2 成城大学大学院WEB出願サイトにアクセス

成城大学入試情報サイト「成城ブリッジ」の「大学院入試」紹介ページ内にある「WEB 出願サイト」にアクセスしてください。初めて出願する方は、「初めて出願の方」を選択し、サイトへの登録を行ってください。
既にサイトへの登録が済んでいて「ログインID」が発行されて付与されている方は、「マイページへログイン」を押下してください。

成城ブリッジ「大学院入試」紹介ページ
https://admission.seijo.ac.jp/graduate

WEB出願サイトのログインにはワンタイムパスキーを使用します。

セキュリティ対策のため、ログイン時に一度だけ使えるワンタイムパスキーを、ログインの都度発行しています。

STEP 3 出願情報及び志願者情報の入力並びに顔写真データの登録

(1) 出願情報（志願研究科、入試区分、希望指導教員等）の入力
画面の指示に従って、志願研究科や専攻、入試区分等を選択し、「進む」を押下してください。

(2) 志願者情報の入力
志願者の氏名、電話番号、住所、学歴等といった志願者情報を入力してください。
- 氏名欄には、漢字使用圏出身である志願者は漢字氏名を入力し、漢字氏名が無い志願者はアルファベットで入力してください。なお、入力できる漢字は、JIS 第 1 水準漢字及び第 2 水準漢字並びに一部の文字に限ります。詳細は、WEB 出願サイトの情報を確認してください。氏名に用いる漢字がこれらに含まれない場合には、対応する漢字に置き換えてください。
- 入力する住所は、日本国内に限るものとし、本学からの書類が確実に届く住所を入力してください。

(3) 顔写真データの登録
画面の指示に従って、顔写真データをアップロードして登録、「進む」を押下してください。

STEP 4 WEB出願情報等の登録完了

写真や入力内容を確認し、「出願登録を完了する」を押下して、出願情報等の登録を完了してください。完了後、メールが届きますので、その内容をよくご確認ください。

※「ログインID」とは出願登録を行った個人を識別する専用の番号、「WEB受付番号」とはWEB出願サイトにおいて出願登録単位に振られる番号のことです。
※出願登録完了の画面にも同じ情報が表示されます。画面に表示された「ログインID」は必ずメモをしておいてください。マイページへのログインに必要です（「WEB受付番号」は処理上の番号なのでメモ等は不要です）。
※メールが到着しない場合は、WEB出願サイトの「よくある質問」に記載されている、メールに関する項目を確認してください。
それでも問題が解決しない場合は、「E楽サポートセンター」（28頁参照）に「メールが届かない」旨を相談してください。

STEP 5　入学検定料の支払い

入学検定料の支払いについては、20頁を確認して行ってください。

STEP 6　出願書類の提出

出願書類の提出については、18頁から19頁までを確認して行ってください。

出願登録内容及び志願者情報の変更

「出願内容」及び「志願者情報」（住所・電話番号等）の変更には、以下のとおり対応します。なお、変更依頼は、出願期間最終日を期限として受け付けます。

【変更依頼方法】
以下の内容を記載したメールを「admission@seijo.jp」（成城大学入学センター）宛にお送りください。

- **件名**：「成城大学大学院　WEB出願登録内容変更依頼」
- **本文**：氏名、生年月日、住所、電話番号、ログインID、出願内容並びに変更項目及び変更内容
  - 個人の特定を厳密に行うために、メール本文には上に示すすべての項目について記載してください。
  - 変更すべき項目と内容がわかるように、メール本文を記載してください。

入学センターからの変更を受理した旨の返信をもって、登録内容の変更が完了となります。

問い合わせ先

●WEB出願サイトの操作方法などに関する問い合わせ
例）ログインできない、メールが届かない、など
E楽サポートセンター　TEL：03-5957-5345
受付時間：出願期間の平日９時～16時

●出願書類・受験科目などに関する問い合わせ
成城大学入学センター　TEL：03-3482-9100
受付時間：平日９時～16時（土曜・日曜・祝日・大学の休業日を除く）

出願手続完了

ここまでを、出願期間（４頁及び６頁参照）内に完了してください。

STEP 7　受験票の交付（ダウンロード及び印刷）

入学検定料及び出願書類の確認を取ることができた後に、WEB出願システムにより受験票を交付します。
試験日の１週間前までに、登録したメールアドレス宛に受験票発行の通知メールをお送りします（受験票は、郵送されません）。
WEB出願サイトのマイページにログインして、受験票のファイルをダウンロードしてください。これをA4サイズ縦向きに印刷し、印刷した受験票を試験当日に持参してください。
なお、試験日の１週間前までに受験票交付についてのメールがない場合は、入学センターに速やかに連絡してください。

受験票の受領

文学研究科　教員推薦入試

1. 目的

成城大学大学院文学研究科での全専攻では、質の高い学生を確保して大学院の活性化を図ることを目的として、成城大学大学院文学研究科への進学を希望する学校教員（小学校、中学校、高等学校の教員）のための推薦入学制度を導入し、以下の書類を提出できる者を博士課程前期に大学院生として受け入れる。

2. 募集人員

国文学専攻	博士課程前期	若干名
英文学専攻	博士課程前期	若干名
日本常民文化専攻	博士課程前期	若干名
美学・美術史専攻	博士課程前期	若干名
コミュニケーション学専攻	博士課程前期	若干名
ヨーロッパ文化専攻	博士課程前期	若干名

3. 選抜方法

勤務校校長の推薦を必要とし、筆記試験は行わず、面接をもってこれに代える。

4. 出願書類（WEB出願は行わない。書面での出願）

イ）入学願書（本学所定の用紙の為、本学まで問い合わせること）
ロ）勤務校校長の推薦状
ハ）履歴書（研究科所定の用紙の為、本学まで問い合わせること）
ニ）研究計画書（できるだけ具体的なもの。研究分野は志願者がこれまで教員として担当した科目と密接な関連性をもち、本研究科の指導態勢の枠内で論文執筆が可能であることが望ましい。）

5. 受験票の交付

入学検定料・出願書類の確認が取れた後、受験票を交付する。
試験日の１週間前までに受験票が届かない場合は、入学センターへ連絡すること。

6. 判定

入学の可否について文学研究科構成員による判定会議の議を経て決定する。

7. 早期修了（日本常民文化専攻のみ）

文学研究科の日本常民文化専攻では、本研究科入学前に「成城大学科目等履修生制度」（以下「科目等履修生制度」という）を利用した者で、博士課程前期の１年次に在籍し、所定の単位を修得し、修士論文の審査に合格した学校教員を対象に博士課程前期１年次終了時に大学院文学研究科教授会での審議の上、修士の学位が与えられる。

なお、本制度の申請には、出願資格、要件を満たす必要があるため、事前に教務部に問い合わせること。

8. 授業料等

授業料等の学費は、前期課程の学費と同様とする。
成城学園の学校教員（初等学校、中学校高等学校の教員）については学内者とする。

9. 書類提出期間

2026年８月17日（月）～８月27日（木）※郵送出願のみ。締切日16：00までとし必着とする。
上記の期間に、検定料を支払いのうえ、書留便で入学センターに郵送すること。
※入学センター受付時間　　平　日　９：00～16：00
（土曜・日曜・祝日・大学の休業日を除く）

検定料35,000円（銀行振込に限る）
銀行備えつけの振込用紙、自動振込機（ATM）、ネットバンキングから、入学検定料をお支払いください。
振込手数料は、出願者がご負担ください。

●**振　込　先**

三井住友銀行　成城支店
普通預金　１４５１３４９
学校法人（ガッコウホウジン）　成城学園（セイジョウガクエン）

●お振込の際、出願者氏名の前に整理番号「28」を入力（記入）してください。
（例）28　セイジョウ　タロウ
●振込期間　2026年８月17日（月）～８月27日（木）まで
●原則として、一旦支払われた入学検定料は返還しない。
ただし、返還が認められる場合があるので、詳細は入試情報サイト「成城ブリッジ」の大学院ページ内にある「入学検定料の返還」を参照すること。

10. 面接試問日程・場所

2026年９月26日（土）15：00より（予定）
＜試験場＞成城大学学内
＊当日の集合時間・場所については、試験当日までに別途通知する。
試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後20分以内の遅刻に限り、受験を認める。

11. 合格者発表

2026年９月28日（月）10：00
合格者の発表は、本学オフィシャルサイト（https://www.seijo.ac.jp）に掲載する。電話等による合否に関する問い合わせには一切応じない。
合格者には、発表当日に入学センターより入学手続書類を交付する。なお、当日来学できなかった場合は発表翌日に郵送する。

12. 手続期間

2026年９月28日（月）～11月16日（月）16：00まで（締切日必着）
※手続書類は郵送のみ。締切日必着のこと。
書留便で入学センターに郵送すること。

授業科目および研究指導担当者

授業科目と研究指導担当者をご案内します。この誌面の情報は2026年度開講のものです。
各科目の詳細は本学ホームページ上のシラバスで公開しているので出願の際に合わせて参照してください。
＊印の教員は当該授業科目の研究指導を担当します。

国文学専攻

博士課程前期

上代文学研究Ａ 上代文学研究Ｂ	教授	博士（文学）	小林真由美*	
中古文学研究Ａ 中古文学研究Ｂ	教授	博士（文学）	上野　英二*	
中世文学研究Ａ 中世文学研究Ｂ	教授	博士（文学）	山中　玲子	法政大学 名誉教授
近世文学研究Ａ 近世文学研究Ｂ	教授		宮﨑　修多*	
近代文学研究ⅠＡ 近代文学研究ⅠＢ	准教授	博士（文学）	吉田　遼人*	
近代文学研究ⅡＡ 近代文学研究ⅡＢ		休講		
漢文学研究Ａ 漢文学研究Ｂ	教授	博士（文学）	山田　尚子*	
国語学研究Ａ 国語学研究Ｂ	教授	博士（文学）	竹内　史郎*	
国語国文学研究ⅠＡ 国語国文学研究ⅠＢ		休講		
国語国文学研究ⅡＡ 国語国文学研究ⅡＢ		休講		
国語国文学研究ⅢＡ 国語国文学研究ⅢＢ		休講		
国語国文学研究ⅣＡ 国語国文学研究ⅣＢ		休講		
比較文学研究Ａ 比較文学研究Ｂ	講師		竹内　晶子	法政大学
文学館演習	教授	博士（文学）	竹内　史郎	

博士課程後期

上代文学特殊研究Ａ 上代文学特殊研究Ｂ	教授	博士（文学）	小林真由美*	
中古文学特殊研究Ａ 中古文学特殊研究Ｂ	教授	博士（文学）	上野　英二*	
中世文学特殊研究Ａ 中世文学特殊研究Ｂ	教授	博士（文学）	山中　玲子	法政大学 名誉教授
近世文学特殊研究Ａ 近世文学特殊研究Ｂ	教授		宮﨑　修多*	
近代文学特殊研究ⅠＡ 近代文学特殊研究ⅠＢ	准教授	博士（文学）	吉田　遼人*	
近代文学特殊研究ⅡＡ 近代文学特殊研究ⅡＢ		休講		
漢文学特殊研究Ａ 漢文学特殊研究Ｂ	教授	博士（文学）	山田　尚子*	
国語学特殊研究Ａ 国語学特殊研究Ｂ	教授	博士（文学）	竹内　史郎*	
国語国文学特殊研究ⅠＡ 国語国文学特殊研究ⅠＢ		休講		
国語国文学特殊研究ⅡＡ 国語国文学特殊研究ⅡＢ		休講		
国語国文学特殊研究ⅢＡ 国語国文学特殊研究ⅢＢ		休講		
国語国文学特殊研究ⅣＡ 国語国文学特殊研究ⅣＢ		休講		
比較文学特殊研究Ａ 比較文学特殊研究Ｂ	講師		竹内　晶子	法政大学

英文学専攻

博士課程前期

英語学研究ⅠA 英語学研究ⅠB	教授	Ph. D.	井上　徹*	
英語学研究ⅡA 英語学研究ⅡB	准教授	Ph. D.	水澤祐美子*	
英語学研究ⅢA 英語学研究ⅢB	講師	博士（言語学）	井上　逸兵	慶應義塾大学
英語文学研究ⅠA 英語文学研究ⅠB	教授	博士（芸術学）	松田美作子*	
英語文学研究ⅡA 英語文学研究ⅡB		休講		
英語文学研究ⅢA 英語文学研究ⅢB	教授	博士（文学）	木下　誠*	
英語文学研究ⅣA 英語文学研究ⅣB	講師	博士（文学）	佐藤　光重	慶應義塾大学
英語文学研究ⅤA 英語文学研究ⅤB	教授	Ph. D.	松川　祐子*	
英語文化研究ⅠA 英語文化研究ⅠB		休講		
英語文化研究ⅡA 英語文化研究ⅡB		休講		
Academic Writing for Graduate Students in English Literature A Academic Writing for Graduate Students in English Literature B	講師	Ph. D.	W. H. アームストロング	
英語比較研究A 英語比較研究B		休講		

博士課程後期

英語学特殊研究ⅠA 英語学特殊研究ⅠB	教授	Ph. D.	井上　徹*	
英語学特殊研究ⅡA 英語学特殊研究ⅡB	准教授	Ph. D.	水澤祐美子*	
英語学特殊研究ⅢA 英語学特殊研究ⅢB	講師	博士（言語学）	井上　逸兵	慶應義塾大学
英語文学特殊研究ⅠA 英語文学特殊研究ⅠB	教授	博士（芸術学）	松田美作子*	
英語文学特殊研究ⅡA 英語文学特殊研究ⅡB		休講		
英語文学特殊研究ⅢA 英語文学特殊研究ⅢB	教授	博士（文学）	木下　誠*	
英語文学特殊研究ⅣA 英語文学特殊研究ⅣB	講師	博士（文学）	佐藤　光重	慶應義塾大学
英語文学特殊研究ⅤA 英語文学特殊研究ⅤB	教授	Ph. D.	松川　祐子*	
英語文化特殊研究ⅠA 英語文化特殊研究ⅠB		休講		
英語文化特殊研究ⅡA 英語文化特殊研究ⅡB		休講		
英語比較特殊研究A 英語比較特殊研究B		休講		

日本常民文化専攻

博士課程前期

日本常民文化研究ⅠA 日本常民文化研究ⅠB	講師	博士（社会科学）	加賀谷真梨	上智大学
日本常民文化研究ⅡA 日本常民文化研究ⅡB	講師	博士（文学）	加藤　幸治	武蔵野美術大学
日本民俗学研究ⅠA 日本民俗学研究ⅠB	講師	博士（文学）	小池　淳一	国立歴史民俗博物館
日本民俗学研究ⅡA 日本民俗学研究ⅡB	准教授	博士（文学）	及川　祥平*	
日本民俗学研究ⅢA 日本民俗学研究ⅢB	教授	博士（学術）	俵木　　悟*	
日本常民文化史研究A 日本常民文化史研究B	講師	博士（文学）	三田　武繁	東海大学
日本文化史研究ⅠA 日本文化史研究ⅠB	教授	博士（文学）	外池　　昇*	
日本文化史研究ⅡA 日本文化史研究ⅡB	講師	博士（文学）	堀川　　徹	星槎大学
日本文化史研究ⅢA 日本文化史研究ⅢB	教授	博士（文学）	鈴木　正信*	
日本思想史研究A 日本思想史研究B	講師	博士（文学）	滝口　正哉	徳川林政史研究所
文化人類学研究ⅠA 文化人類学研究ⅠB	教授	博士（人間環境学）	川田　牧人*	
文化人類学研究ⅡA 文化人類学研究ⅡB	講師	Ph. D.	松岡　秀明	成城大学他
文化人類学研究ⅢA 文化人類学研究ⅢB		休講		
社会人類学研究 A 社会人類学研究 B	教授	博士（社会人類学）	上杉　富之*	
文化政策論研究		休講		
公共文化学研究		休講		

博士課程後期

日本常民文化特殊研究ⅠA 日本常民文化特殊研究ⅠB	講師	博士（社会科学）	加賀谷真梨	上智大学
日本常民文化特殊研究ⅡA 日本常民文化特殊研究ⅡB	講師	博士（文学）	加藤　幸治	武蔵野美術大学
日本民俗学特殊研究ⅠA 日本民俗学特殊研究ⅠB	講師	博士（文学）	小池　淳一	国立歴史民俗博物館
日本民俗学特殊研究ⅡA 日本民俗学特殊研究ⅡB	准教授	博士（文学）	及川　祥平*	
日本民俗学特殊研究ⅢA 日本民俗学特殊研究ⅢB	教授	博士（学術）	俵木　　悟*	
日本常民文化史特殊研究A 日本常民文化史特殊研究B	講師	博士（文学）	三田　武繁	東海大学
日本文化史特殊研究ⅠA 日本文化史特殊研究ⅠB	教授	博士（文学）	外池　　昇*	
日本文化史特殊研究ⅡA 日本文化史特殊研究ⅡB	講師	博士（文学）	堀川　　徹	星槎大学
日本文化史特殊研究ⅢA 日本文化史特殊研究ⅢB	教授	博士（文学）	鈴木　正信*	
日本思想史特殊研究A 日本思想史特殊研究B	講師	博士（文学）	滝口　正哉	徳川林政史研究所
文化人類学特殊研究ⅠA 文化人類学特殊研究ⅠB	教授	博士（人間環境学）	川田　牧人*	
文化人類学特殊研究ⅡA 文化人類学特殊研究ⅡB	講師	Ph. D.	松岡　秀明	成城大学他
文化人類学特殊研究ⅢA 文化人類学特殊研究ⅢB		休講		
社会人類学特殊研究 A 社会人類学特殊研究 B	教授	博士（社会人類学）	上杉　富之*	

美学・美術史専攻

博士課程前期

美学研究ⅠA 美学研究ⅠB	准教授	博士（美術）	井奥　陽子*	
美学研究ⅡA 美学研究ⅡB	教授		山下　純照	
美学研究ⅢA 美学研究ⅢB	講師	博士（文学）	河合　大介	岡山県立大学
芸術学研究ⅠA 芸術学研究ⅠB	講師	博士（文学）	天野　知香	お茶の水女子大学 名誉教授
芸術学研究ⅡA 芸術学研究ⅡB	教授		山下　純照*	
芸術学研究ⅢA 芸術学研究ⅢB	教授	博士（文学）	赤塚健太郎*	
日本美術史研究ⅠA	講師	博士（文学）	山本　聡美	早稲田大学
日本美術史研究ⅠB	講師		野地耕一郎	泉屋博古館
日本美術史研究ⅡA 日本美術史研究ⅡB	准教授		安永　拓世*	
日本美術史研究ⅢA 日本美術史研究ⅢB		休講		
東洋美術史研究ⅠA 東洋美術史研究ⅠB	教授	博士（文学）	藤岡　　穣*	
東洋美術史研究ⅡA 東洋美術史研究ⅡB	講師	博士（文学）	塚本　麿充	東京大学
西洋美術史研究ⅠA 西洋美術史研究ⅠB	教授	博士（文学）	高橋　健一*	
西洋美術史研究ⅡA 西洋美術史研究ⅡB	教授	博士（文学）	喜多崎　親*	
西洋美術史研究ⅢA 西洋美術史研究ⅢB	講師		太田英伶奈	駒澤大学
比較美術史研究A 比較美術史研究B	講師	博士（文学）	八木　春生	筑波大学
美学・美術史インターンシップ	教授	博士（文学）	赤塚健太郎	

博士課程後期

美学特殊研究ⅠA 美学特殊研究ⅠB	准教授	博士（美術）	井奥　陽子*	
美学特殊研究ⅡA 美学特殊研究ⅡB	教授		山下　純照	
美学特殊研究ⅢA 美学特殊研究ⅢB	講師	博士（文学）	河合　大介	岡山県立大学
芸術学特殊研究ⅠA 芸術学特殊研究ⅠB	講師	博士（文学）	天野　知香	お茶の水女子大学 名誉教授
芸術学特殊研究ⅡA 芸術学特殊研究ⅡB	教授		山下　純照*	
芸術学特殊研究ⅢA 芸術学特殊研究ⅢB	教授	博士（文学）	赤塚健太郎*	
日本美術史特殊研究ⅠA	講師	博士（文学）	山本　聡美	早稲田大学
日本美術史特殊研究ⅠB	講師		野地耕一郎	泉屋博古館
日本美術史特殊研究ⅡA 日本美術史特殊研究ⅡB	准教授		安永　拓世*	
日本美術史特殊研究ⅢA 日本美術史特殊研究ⅢB		休講		
東洋美術史特殊研究ⅠA 東洋美術史特殊研究ⅠB	教授	博士（文学）	藤岡　　穣*	
東洋美術史特殊研究ⅡA 東洋美術史特殊研究ⅡB	講師	博士（文学）	塚本　麿充	東京大学
西洋美術史特殊研究ⅠA 西洋美術史特殊研究ⅠB	教授	博士（文学）	高橋　健一*	
西洋美術史特殊研究ⅡA 西洋美術史特殊研究ⅡB	教授	博士（文学）	喜多崎　親*	
西洋美術史特殊研究ⅢA 西洋美術史特殊研究ⅢB	講師		太田英伶奈	駒澤大学
比較美術史特殊研究A 比較美術史特殊研究B	講師	博士（文学）	八木　春生	筑波大学

コミュニケーション学専攻

博士課程前期

コミュニケーション学研究ⅠA コミュニケーション学研究ⅠB	休講		
コミュニケーション学研究ⅡA コミュニケーション学研究ⅡB	休講		
コミュニケーション学研究ⅢA コミュニケーション学研究ⅢB	教授	Ph. D.	南　保輔*
コミュニケーション学研究ⅣA コミュニケーション学研究ⅣB	休講		
コミュニケーション学研究ⅤA コミュニケーション学研究ⅤB	休講		
マスコミュニケーション学研究ⅠA マスコミュニケーション学研究ⅠB	教授	博士（経済学）	牧野　圭子*
マスコミュニケーション学研究ⅡA マスコミュニケーション学研究ⅡB	休講		
マスコミュニケーション学研究ⅢA マスコミュニケーション学研究ⅢB	教授	博士（社会学）	渋谷　明子*
マスコミュニケーション学研究ⅣA マスコミュニケーション学研究ⅣB	教授	博士（社会情報学）	新倉　貴仁*
マスコミュニケーション学研究ⅤA マスコミュニケーション学研究ⅤB	教授	博士（文学）	森　暢平*

博士課程後期

コミュニケーション学特殊研究ⅠA コミュニケーション学特殊研究ⅠB	休講		
コミュニケーション学特殊研究ⅡA コミュニケーション学特殊研究ⅡB	休講		
コミュニケーション学特殊研究ⅢA コミュニケーション学特殊研究ⅢB	教授	Ph. D.	南　保輔*
コミュニケーション学特殊研究ⅣA コミュニケーション学特殊研究ⅣB	休講		
コミュニケーション学特殊研究ⅤA コミュニケーション学特殊研究ⅤB	休講		
マスコミュニケーション学特殊研究ⅠA マスコミュニケーション学特殊研究ⅠB	教授	博士（経済学）	牧野　圭子*
マスコミュニケーション学特殊研究ⅡA マスコミュニケーション学特殊研究ⅡB	休講		
マスコミュニケーション学特殊研究ⅢA マスコミュニケーション学特殊研究ⅢB	教授	博士（社会学）	渋谷　明子*
マスコミュニケーション学特殊研究ⅣA マスコミュニケーション学特殊研究ⅣB	教授	博士（社会情報学）	新倉　貴仁*
マスコミュニケーション学特殊研究ⅤA マスコミュニケーション学特殊研究ⅤB	教授	博士（文学）	森　暢平*

ヨーロッパ文化専攻

博士課程前期

▶西洋古典学研究A 西洋古典学研究B	准教授	博士（文学）	吉川　　斉*	
▶歴史言語学研究A 歴史言語学研究B	教授		高名　康文*	
ヨーロッパ思想研究ⅠA ヨーロッパ思想研究ⅠB	准教授	博士（文学）	下田　和宣*	
ヨーロッパ思想研究ⅡA ヨーロッパ思想研究ⅡB		休講		
ヨーロッパ思想研究ⅢA ヨーロッパ思想研究ⅢB		休講		
ヨーロッパ思想研究ⅣA ヨーロッパ思想研究ⅣB	教授	博士（文学）	村瀬　　鋼*	
ヨーロッパ史研究ⅠA ヨーロッパ史研究ⅠB	教授	Dr. Phil	中野　智世*	
ヨーロッパ史研究ⅡA ヨーロッパ史研究ⅡB		休講		
ヨーロッパ史研究ⅢA ヨーロッパ史研究ⅢB	准教授	Docteur en histoire	中山　　俊*	
ヨーロッパ史研究ⅣA ヨーロッパ史研究ⅣB		休講		
ドイツ語学文学研究ⅠA ドイツ語学文学研究ⅠB	教授	博士（文学）	時田　郁子*	
ドイツ語学文学研究ⅡA ドイツ語学文学研究ⅡB	教授	博士（文学）	明星　聖子*	
ドイツ語学文学研究ⅢA ドイツ語学文学研究ⅢB	客員教授	PD Dr.	F. クリステン	
		後期は休講		
オーストリア文化論研究A オーストリア文化論研究B		休講		
ドイツ口承文芸論研究A ドイツ口承文芸論研究B		休講		
フランス語学文学研究ⅠA フランス語学文学研究ⅠB	講師	博士 （テクストとイメージの歴史・記号学）	浅間　哲平	明治大学
フランス語学文学研究ⅡA フランス語学文学研究ⅡB		休講		
フランス語学文学研究ⅢA フランス語学文学研究ⅢB	教授	Docteur en lettres	有田　英也*	
広域芸術論研究A 広域芸術論研究B	講師	Docteur en philosophie	生方　淳子	国士舘大学
▶一般言語学研究A 一般言語学研究B	講師	博士 （言語科学）	小野　　文	慶應義塾大学

▶印の授業科目は博士課程前期修了までにいずれかを必修とする

博士課程後期

西洋古典学特殊研究A 西洋古典学特殊研究B	准教授	博士（文学）	吉川　　斉*	
歴史言語学特殊研究A 歴史言語学特殊研究B	教授		高名　康文*	
ヨーロッパ思想特殊研究ⅠA ヨーロッパ思想特殊研究ⅠB	准教授	博士（文学）	下田　和宣*	
ヨーロッパ思想特殊研究ⅡA ヨーロッパ思想特殊研究ⅡB		休講		
ヨーロッパ思想特殊研究ⅢA ヨーロッパ思想特殊研究ⅢB		休講		
ヨーロッパ思想特殊研究ⅣA ヨーロッパ思想特殊研究ⅣB	教授	博士（文学）	村瀬　　鋼*	
ヨーロッパ史特殊研究ⅠA ヨーロッパ史特殊研究ⅠB	教授	Dr. Phil	中野　智世*	
ヨーロッパ史特殊研究ⅡA ヨーロッパ史特殊研究ⅡB		休講		
ヨーロッパ史特殊研究ⅢA ヨーロッパ史特殊研究ⅢB	准教授	Docteur en histoire	中山　　俊*	
ヨーロッパ史特殊研究ⅣA ヨーロッパ史特殊研究ⅣB		休講		
ドイツ語学文学特殊研究ⅠA ドイツ語学文学特殊研究ⅠB	教授	博士（文学）	時田　郁子*	
ドイツ語学文学特殊研究ⅡA ドイツ語学文学特殊研究ⅡB	教授	博士（文学）	明星　聖子*	
ドイツ語学文学特殊研究ⅢA ドイツ語学文学特殊研究ⅢB	客員教授	PD Dr.	F. クリステン	
		後期は休講		
オーストリア文化論特殊研究A オーストリア文化論特殊研究B		休講		
ドイツ口承文芸論特殊研究A ドイツ口承文芸論特殊研究B		休講		
フランス語学文学特殊研究ⅠA フランス語学文学特殊研究ⅠB	講師	博士 （テクストとイメージの歴史・記号学）	浅間　哲平	明治大学
フランス語学文学特殊研究ⅡA フランス語学文学特殊研究ⅡB		休講		
フランス語学文学特殊研究ⅢA フランス語学文学特殊研究ⅢB	教授	Docteur en lettres	有田　英也*	
広域芸術論特殊研究A 広域芸術論特殊研究B	講師	Docteur en philosophie	生方　淳子	国士舘大学
一般言語学特殊研究A 一般言語学特殊研究B	講師	博士 （言語科学）	小野　　文	慶應義塾大学

専任教員の紹介（2026年度在籍の教員）

詳しい情報についてはホームページの教員紹介のページをご参照ください。

国文学専攻

	専門分野	最近の研究テーマ	QRコード
教授 小林　真由美	古代国文学	古代国文学	
教授 上野　英二	中古国文学	平安朝文学、特に『源氏物語』『伊勢物語』『古今和歌集』等	
教授 大谷　節子	中世国文学	中世文学、特に能、狂言。謡の享受史。	
教授 宮﨑　修多	近世国文学	江戸時代〜明治前期の文芸思潮と人物研究	
准教授 吉田　遼人	近代国文学	泉鏡花を中心とした近代文学	
教授 山田　尚子	日本漢文学	日本漢学、和漢比較文学	
教授 竹内　史郎	日本語学・文法史	ゾによる係り結びの研究、東北諸方言の韻律について	

英文学専攻

	専門分野	最近の研究テーマ	QRコード
教授 井上　徹	英語学	英語の語法・文法研究、文法化研究	
准教授 水澤　祐美子	社会言語学・英語教育・選択体系機能言語学	社会言語学・体系機能言語学	
教授 松田　美作子	イギリス文学・文化	初期近代英文学・エンブレムを中心とした視覚文化研究	
教授 木下　誠	イギリス文学・文化	英国モダニズム小説と金融経済	
教授 松川　祐子	アメリカ文学	19世紀末20世紀初めのアメリカ文学、アジア系アメリカ文学、オリエンタリズム研究	

日本常民文化専攻

	専門分野	最近の研究テーマ	QRコード
教授 上杉　富之	社会人類学	複数性の人類学、グローカル研究	
准教授 及川　祥平	民俗学	人神祭祀および偉人顕彰の歴史実践としての検討、日常学的民俗学／世相史的民俗学の実質化	
教授 川田　牧人	文化人類学、宗教人類学	民俗社会における呪術・祭祀の宗教人類学、余興笑芸を通した地域活性化	
教授 鈴木　正信	日本古代史・中世史	邪馬台国、大和王権、古代豪族、『古事記』『日本書紀』の神話・伝承、系図史料	
教授 外池　昇	日本文化史	近世・近代における天皇陵のあり方について	
教授 俵木　悟	民俗学	民俗芸能の伝承実践の研究、無形文化遺産論	

美学・美術史専攻

	専門分野	最近の研究テーマ	QRコード
教授 赤塚　健太郎	音楽学・舞踊学	バロック時代の舞踏と舞曲、バロック音楽の演奏習慣	
准教授 井奥　陽子	美学	ドイツ啓蒙主義美学における秘教主義の影響	
教授 喜多崎　親	西洋美術史	19世紀フランスの宗教画や象徴主義絵画における、形態と意味形成との関係	
教授 高橋　健一	西洋美術史	17—18世紀イタリア美術史	
教授 藤岡　穣	東洋・日本美術史、仏教美術史	AIによる仏顔の研究、蛍光X線分析に基づく金銅仏研究	
准教授 安永　拓世	日本美術史	江戸時代の文人画の表現・基底材・彩色材料・受容史に関する諸問題	
教授 山下　純照	演劇学	劇における複合的時間構造；劇のナラトロジー；現代演劇における時間の形態学	

コミュニケーション学専攻

	専門分野	最近の研究テーマ	QRコード
教授 渋谷　明子	メディア心理学／社会心理学	メディア表現のダイバーシティが偏見の解消に及ぼす効果	
教授 新倉　貴仁	社会学、メディア論	複製技術とナショナリズム、近代日本におけるミドルクラスと文化、事務機械の歴史	
教授 牧野　圭子	消費者行動論、広告心理学	快楽消費、消費者の感性	
教授 南　保輔	コミュニケーション論、EMCA	マルチモーダル相互行為分析、薬物依存からの回復コミュニティ、視覚障害者との非対称コミュニケーション	
教授 森　暢平	日本歴史学、メディア史、歴史社会学	近代皇室の社会史、パブリック・ジャーナリズム論、地方メディア論	
准教授 山内　香奈	心理測定・評価, 社会心理学	態度・行動変容、情報デザイン、リスクコミュニケーション	

ヨーロッパ文化専攻

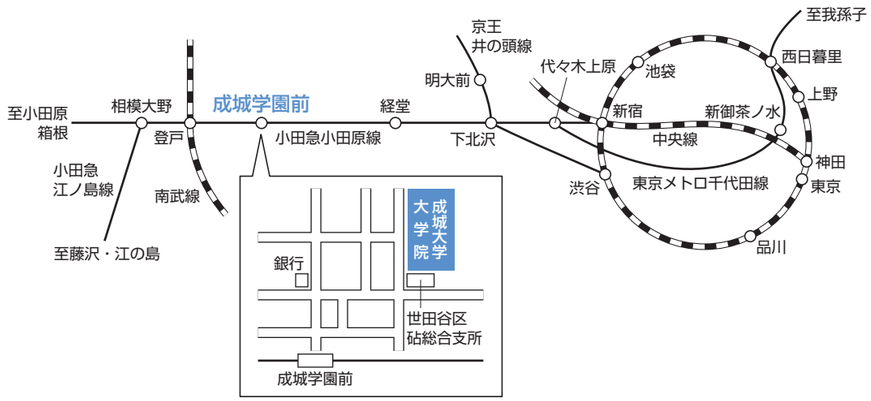
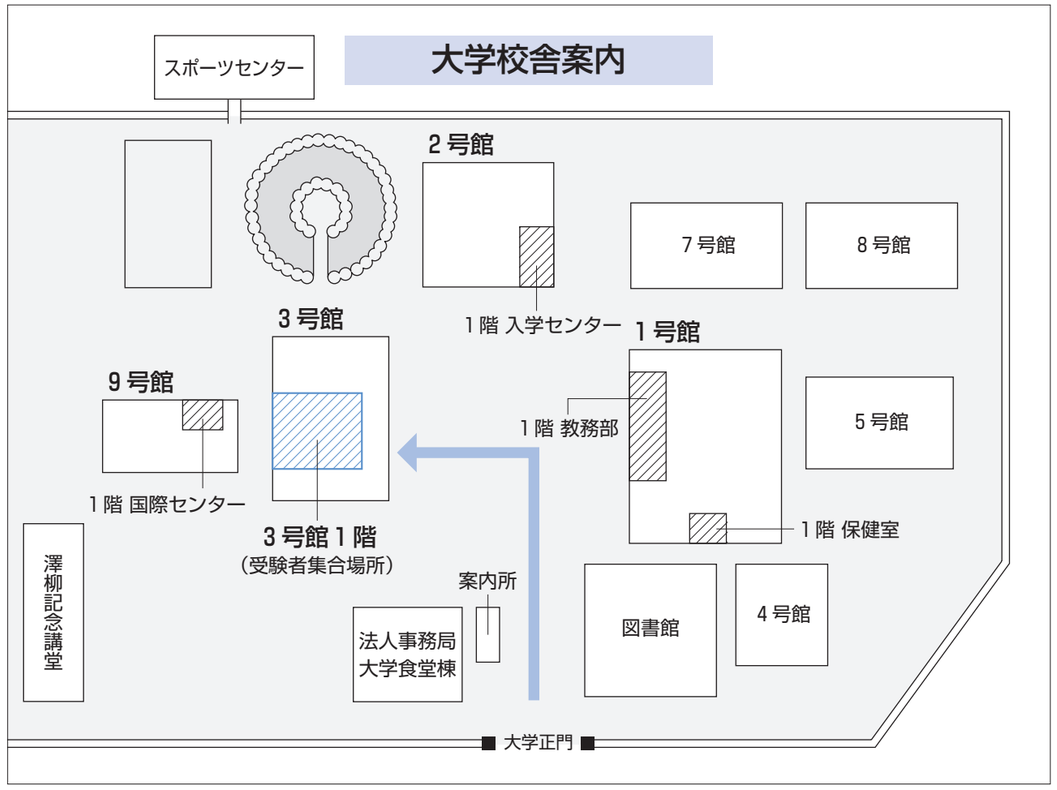
	専門分野	最近の研究テーマ	QRコード
教授 有田　英也	仏語、仏文学	20 世紀フランス文学、地域文化論、ユダヤ民族の近代史	
准教授 下田　和宣	ドイツ哲学、文化哲学、宗教哲学	ドイツ文化哲学の展開と可能性（とくにブルーメンベルク）	
教授 高名　康文	仏語・仏文学、歴史言語学、文献学	中世都市の成立と心性の変化に関する文学研究からのアプローチ、『狐物語』の成立に関する文献学的研究	
准教授 滝沢　明子	20世紀フランス批評、現代芸術、写真論	ロラン・バルトにおける写真論の形成過程	
教授 時田　郁子	独語、独文学	ドイツ語圏の文学・文化・思想	
教授 中野　智世	ドイツ史	慈善・福祉の歴史、宗教の社会史（特にカトリシズム）、障害史、子ども史	
准教授 中山　俊	フランス近現代史	19世紀フランスにおける文化財の保存と活用	
教授 明星　聖子	近現代ドイツ文学	カフカ研究、編集文献学	
教授 村瀬　鋼	フランス哲学	自己と他者の現象学と存在論、ミシェル・アンリとエマニュエル・レヴィナス	
准教授 吉川　斉	西洋古典学	古典受容研究、イソップ研究	

お問い合わせ先　**・入試制度・受験科目について**
2 号館 1 階　入学センター
TEL：03-3482-9100　https://www.seijo.ac.jp/contact/
・研究について　3 号館 3 階　文学研究科長室　　Mail：bunken@seijo.jp

交　通

最寄り駅は小田急線「成城学園前」駅。中央改札口（北口）から歩いて約 4 分です。
●小田急線・新宿駅より急行（下り）で約 15 分、登戸駅より急行（上り）で約 5 分、町田駅より急行（上り）で約 20 分
●東京メトロ千代田線・新御茶ノ水駅より代々木上原経由、小田急線直通で約 30 分
●京王井の頭線・渋谷駅より下北沢経由、小田急線のりかえで約 15 分

（ご注意）
小田急線「快速急行」は通過となりますので、乗車には十分ご注意ください。



大学校舎案内